

木質パネルを用いた置床システム

『モクユカ』の4社共同開発に関するお知らせ

フクビ化学工業株式会社（福井県福井市、代表取締役：森克則）と、ジャパン建材株式会社（東京都江東区、代表取締役：小川明範）、株式会社ミヨシ産業（鳥取県米子市、代表取締役：谷野利宏）、株式会社鳥取 CLT（鳥取県西伯郡、代表取締役：谷野利宏）は、国産材 100%の木質置床システム『モクユカ』の4社共同開発事業を進めております。ジャパン建材・ミヨシ産業を販売窓口とし、2025 年 4 月の発売を目指しております。



【開発の背景】

2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みのひとつとして、建築物における木造化・木質化を進めることで、炭素固定を担い、木の循環を促すことが重要となります。SDGs や ESG 投資などの後押しもあり、ここ数年で公共建築物を中心とした木造・木質化は増加してまいりました。しかし、木造化には、コスト的な問題や技術的な課題があります。また、木質化においては、内装制限の制約もあり、木材利用量を増やすには、問題・課題が多くあります。

「コスト負担は少なく、国産材の利用量を増やしたい」といったニーズに応えたく、我々4社にて開発タスクフォースを組織致しました。開発ポイントは、①既製品・流通している材料を用いること、②既存技術や知見の応用、③従来のフリーアクセスフロアと同様の施工方法、としております。また、「サーキュラーエコノミー（循環経済）」の観点から、木質置床システム『モクユカ』は、回収された後も別の木質製品（パーティクルボードなど）へ生まれ変わる仕組みを考えております。木材の利用促進を進めながら、資源の循環、長期的な炭素固定へと繋がる仕組みとなります。

【製品特長】

- ・12mm 厚の木材を3層に直交して貼り合わせたことで、短所である伸縮や狂いを改善し、寸法安定性に優れております。
- ・木材が持つ優れた保温性能や吸放湿性能、抗菌、癒しの効果などが期待できます。
- ・木材利用量の把握が容易となります（㎡あたり 0.036 ㎡の木材を利用する）。
- ・「化粧（A）」「野物（B）」の材面グレードと2種類の塗装仕上げをご用意しております。
- ・樹脂製支柱は、軽量で搬入・施工時の負担は軽減され、より省力化された計画が可能となります。

※注意：天然木を用いておりますので、干割れや反り、汚れなど生じる場合がございます。

【当社の役割】

- ・システム床メーカーとしての知見を活かした開発協力と樹脂製支柱の供給
- ・樹脂成型メーカーならではの「木を活かす」ものづくりによる「木材の利用促進」への貢献



【リリースに関する問い合わせ先】

フクビ化学工業株式会社 新市場開発課 担当：岡

☎ 03-5742-6375

E-mail t.oka@fukuvi.co.jp

【販売に関する問い合わせ先】

ジャパン建材株式会社 木構造建築室 担当：吉川様・内野様

☎ 03-5534-3719

E-mail ew@jkenzai.com

株式会社ミヨシ産業 プレカット事業部 担当：高野（こうの）様

☎ 0859-56-6868

E-mail kono@miyoshi-san.co.jp